



なにわ エコウエーブ

知っていますか? 「マイクロプラスチック」

「スターバックスやマクドナルド、セブン&アイ・フードシステムズなどが、プラスチックのストローの使用をやめる」

最近、こんなニュースを耳にした方も多いのではないでしょうか。

いま、「マイクロプラスチック」による海の汚染が、世界中で問題となっています。

「マイクロプラスチック」とは、サイズが5mm以下の小さなプラスチックのことを言います。

北極や南極でもマイクロプラスチックが観測された、という報告もあります。

プラスチックごみによる海の生き物への影響については、以前からよく知られています。

エサと間違っってプラスチックごみを食べてしまったり、体に絡まって動けなくなってしまった生き物たちをニュースで見るたびに、とても悲しい気持ちになります。

マイクロプラスチックは、とても小さいので、小さな生き物でも飲み込みやすく、より広い範囲の生き物に影響があると考えられています。

また、マイクロプラスチックにPCBなどの有害な化学物質がくっついているのではないかと、とも言われています。

マイクロプラスチックについての研究は、まだ始まったばかりなので、どんな生き物にどんな影響があるのか、分からないことがたくさんあります。

マイクロプラスチックには、次の2種類があると考えられています。

- ①洗顏料や歯磨き粉のスクラブなど、もともと小さなサイズで作られたもの
 - ②ビニール袋や発泡スチロールなど、大きなサイズで作られたものが、細かく砕けたもの
- ①は、排水溝などを通じて川や海に流れ出し、しか

も一度流れ出してしまうと、回収するのはほとんど不可能です。

そのため、そのようなプラスチックを含む製品を作らないように、企業の取り組みが進んでいます。

私たちが、洗顏料や歯磨き粉を買うときは、マイクロプラスチックが入っていないかどうか、チェックしましょう。(成分表示には「ポリエチレン」「ポリエチレン末」「ポリプロピレン」などと表示されています)

②については、みなさんもよくご存知ですよ。

ごみを道端などに捨てるなんて、もってのほか。

できるだけ包装が簡単なものを買ったり、どうしても出てしまうプラスチックごみについては、分別回収してリサイクルすることも大切です。

プラスチックごみを減らすため、環境省は「プラスチック・スマート」キャンペーンを立ち上げました。

海の生き物たちを守るために、私たちにもできることがたくさんあります。

「マイクロプラスチック」をきっかけに、日々の暮らしをもう一度、見つめ直してみませんか。

参考資料:

環境省「海洋プラスチック問題について」(平成30年7月)

環境省「プラスチックを取り巻く国内外の状況」(平成30年8月)

文責:事務局



■ 天神祭ごみゼロ大作戦2018

なにわエコ会議は、一昨年より始まった「天神祭ごみゼロ大作戦」に参加しています。ごみを減らすことで、ごみ処理で出るCO₂が減ったり、ごみとなるものを作るときに出るCO₂が減るため、地球温暖化防止にも役立ちます。

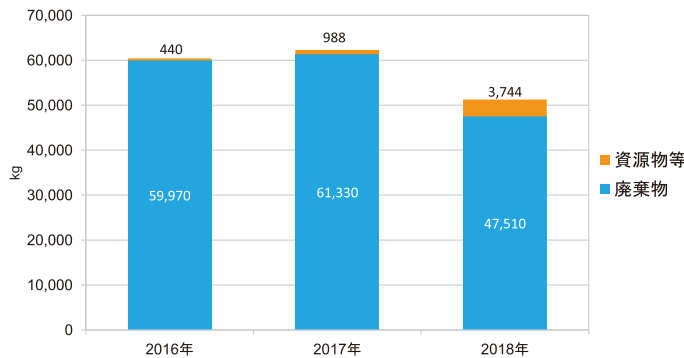
この活動は、市民・事業者・行政のパートナーシップにより、天神祭での廃棄物の3R（リデュース・リユース・リサイクル）と適正処理を進め、持続可能な循環型社会の形成に寄与することを目的としています。

なにわエコ会議のエコパートナーであるNPO法人大阪府民環境会議が事務局をつとめており、2年間の活動の成果が認められ、ボランティアに参加したみなさんが、今年度のなにわエコ会議賞を受賞しました。

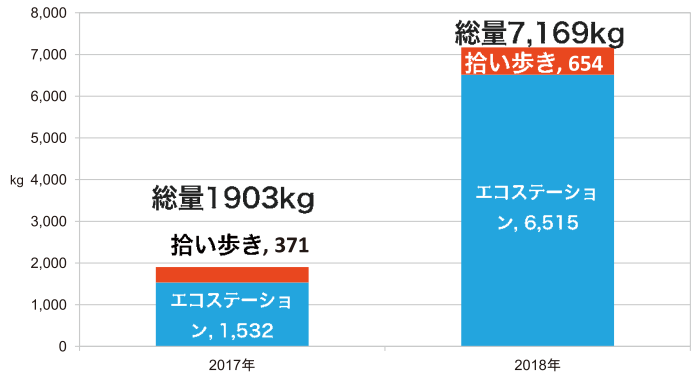
エコステーション（ごみの分別回収BOX）の設置やリユース食器の導入、ごみの拾い歩き、回収量の調査などの取り組みで、大きな成果をあげています。



成果① 廃棄物が前年度から13.8トン減量



成果② 分別回収量が前年度の4倍に増加



成果③ リユース食器回収率が9割を超える

	2017年	2018年
リユース食器採用数	16,080	17,000
リユース食器紛失数	3,842	1,215
リユース食器回収率 (%)	76.1	92.9



成果④ のべ1,494名のボランティアが参加

成果⑤ ボランティア説明会の実施で回答者の90%が環境問題に対して意識変化

成果⑥ 約60名のボランティアリーダーの育成

みなさまも今年の7月24日、25日に天神祭ごみゼロ大作戦に参加してみませんか？

○環境分野におけるSDGsの取組み推進

大阪市は、2019年度から新たに、環境分野におけるSDGsの取組みを推進するため、国連環境計画（UNEP）国際環境技術センター（IETC）、産業団体等で構成するステークホルダーズ・ミーティングを開催し、使い捨てプラスチックの削減などの先進的な取組みや国内外での実践などについての検討を行う予定です。

また、5月にプラスチックごみ問題に関するUNEPシンポジウムを開催し、G20大阪サミットに向けて、メッセージを世界に発信する予定です。

詳細については、今後大阪市ホームページ、なにわエコスタイル等でお知らせしていきます。



■平成30年度CO₂削減コンペ

お陰様で30件の応募があり、審査会において表彰が決まりました。省エネの成果が顕著である企業や取組に特徴がある企業10件が表彰の対象となりました。今年度は夏の猛暑にもかかわらず、対象期間(7月～9月)の3カ月間で30社合計で205 t-CO₂の削減となりました。

2月22日(金)に中央公会堂にて表彰式が開催され、表彰状と記念品の授与が行われました。表彰式に続いてセミナーを行い、受賞者の事例発表と新潮流で関心の高いSDGsについての講演をしていただきました。



受賞者の皆さま

表彰名	事業者名	表彰理由
大賞	奥村機械製作株式会社 本社工場	従業員参加でCO ₂ 削減の著しい成果
優秀賞	西日本三菱自動車販売株式会社 本社	CO ₂ 削減で著しい成果
努力賞	日澱化学株式会社	都市ガスの削減が顕著
貢献賞	株式会社中島大祥堂 本社工場	都市ガスの削減が顕著
貢献賞	おおさかA T Cグリーンエコプラザ実行委員会 おおさかA T Cエイジレスセンター実行委員会	LED更新・照明の見直しでCO ₂ 削減の成果 来館者への普及啓発
チャレンジ賞	株式会社兵庫分析センター	自然エネルギー電力を選択
SDGs推進賞	株式会社KDP	SDGsへの取組が先進的
ユニーク賞	中央精機株式会社	小集団活動による取組が特徴
カーボンオフセット賞	オリオン建設株式会社	カーボンオフセットでCO ₂ ゼロ達成
アイデア賞	株式会社出水商店	製造工程改善、輸送の効率化など創意工夫

■大賞受賞事業者の取り組み紹介

大賞受賞の奥村機械製作株式会社様はトンネルを掘削するシールド機等を作っている会社で、社員一人一人の省エネ意識が浸透しており、空調の設定温度の適正化や機械設備の待機電力の削減等の取組に加えて、照明のLED化、省エネタイプの空調設備との入替え、キュービクルの更新などで省エネにつながりました。



シールドマシン



川口様による講演

■セミナー「SDGsの取組事例」

グリーン購入ネットワーク事務局の竹内孝曜様にSDGsの概要と事業者の取組事例について講演をしていただきました。

参加の企業の皆さんにとって、SDGsを自社の取組にどのように結び付けたらよいかなど参考になったものと思います。



竹内様による講演



講演資料

■ エコパートナー活動紹介



地域および地球規模の環境保全是、エネルギービジネスを中心に事業展開するDaigasグループにとって極めて重要な使命だと考えています。

私たちのあらゆる活動が環境と深く関わっていることを認識し、天然ガスや高効率火力発電および再生可能エネルギーの利用拡大、環境に配慮した設備や製品・サービスの導入・提供などにより、Daigasグループの事業活動における環境負荷の軽減はもとより、お客さま先での環境負荷の低減にも努めております。

また、事業活動を通じて環境との調和を図り、エネルギーと資源の効率的利用の実現、更には次世代教育として、小中学校など教育機関向けのエネルギー環境教育にも取り組み、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

◆ガスホルダーとドームシティガスビル



ハグミュージアムの屋上水田での田植え▶

◆次世代向け環境教育
▼生涯学習センターでの親子環境セミナー



事務局からのお知らせ

なにわエコパートナーを募集しています

*「なにわエコ会議」に参加して、家庭・職場等における省エネ運動や出前講座などの環境教育・学習の支援、環境マネジメントシステムの普及など地球温暖化防止等の取り組みを、一緒に勉強し、実践しませんか。

*詳細は、なにわエコ会議ホームページをご覧ください。(http://www.naniwaekokaigi.org)

●なにわエコ会議のシンボルマーク



たこ焼きを地球儀にみたく、そこに大阪城、通天閣、海遊館を配置することによって大阪らしさを強調し、パートナーシップの力と大阪人の創意工夫で地球温暖化にストップをかけようという願いを込められたものです。

■ マイバッグキャンペーン

なにわエコ会議は、大阪市・事業者と協働してレジ袋削減に取り組む「大阪市におけるレジ袋削減に関する協定」を締結しています。

レジ袋削減に向けた啓発活動として、毎年、大阪市内のスーパーにてマイバッグの配布を行っています。

キャンペーン時に行ったアンケートからは、エコバッグを「常に携帯している」「買い物時にのみ持つていく」と答えた方が83.1%となり、多くの方がエコバッグを使っていることが分かりました。

また、レジ袋をもらう理由として、24.4%の方が「エコバックを持っていない」、25.4%の方が「エコバックを忘れたとき」を挙げ、キャンペーンを続けていくことがレジ袋の削減につながる事が分かりました。

【お詫びと訂正】

「なにわエコウェーブ Vol.26」で掲載した「なにわエコ会議賞 受賞者が決まりました!」の記事の中で、受賞者の一覧に誤りがありました。

大阪市エコボランティアでの活躍が認められての受賞者は、黒野治美氏、今西朋子氏、長谷川喜代子氏、北川ちえこ氏、堀田サダ氏、榎元慶子氏の6名です。

お詫びして訂正いたします。

出前講座をご活用ください

*「出前講座」に食品ロスカードゲームなどの新プログラムが加わりました。
プログラムは、ホームページに掲載しています。

皆様の力をなにわエコ会議活動で発揮しませんか

*なにわエコ会議では、「エコライフ部会」、「環境教育・啓発部会」、「環境に配慮した企業部会」が中心となり、様々なイベントに取り組んでいます。
参加希望者は、事務局まで連絡をお願いします。

なにわエコウェーブ Vol.27

■発行 なにわエコ会議

■編集 なにわエコ会議 事務局

〒559-0034

大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビルITM棟11F

特定非営利活動法人 イー・ビーイング内

■TEL: 06-6614-2219 FAX: 06-6614-1801

■E-mail info@naniwaekokaigi.org

■HP http://www.naniwaekokaigi.org

■Twitter https://twitter.com/naniwaekokaigi